

ヤフーが自己株式を取得—格付への影響は限定的

以下は、ヤフー株式会社（証券コード：4689）の自己株式の取得についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 本日当社は、当社の親会社であるソフトバンクグループ株式会社（SBG）から約 2,200 億円の自己株式を株式公開買付けにより取得すると発表した。発行済み株式の約 11%に相当する。なお、SBG では、国内通信事業の中核子会社であるソフトバンク株式会社（SB）が、米国投資会社の Altaba Inc.（ALT）から約 2,200 億円のヤフー株式を公開買付けにより取得するとしている。これまで SB がヤフー株式の約 43%を保有していたが、一連の取引により、ヤフー株式は SBG が約 36%、SB が約 12%を保有する形態になる。通信会社である SB がヤフー株式を直接保有することで、SB とヤフーの連携強化がより進めやすくなる見通しである。
- (2) 今回の自己株式の取得により、親会社の所有者に帰属する持分（自己資本）が約 2,200 億円減少することになる。取得する自己株式は自己資本（18/3 期末）の約 22%に相当するが、自己株式取得後も約 8,000 億円の自己資本が確保される見通しであり、親会社所有者帰属持分比率も一定の水準が維持される。加えて自己株式の取得資金は、自己資金で賄われ、借入など外部資金の調達は行われないう予定である。以上より、良好な財務内容に大きな変化は生じず、格付への影響は限定的であると判断した。なお、依然として ALT は当社株式の約 27%を保有し、今後も株式の売却を継続する可能性があり、売却の状況について注目したい。

（担当）千種 裕之・本西 明久

【参考】

発行体：ヤフー株式会社

長期発行体格付：A

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル